



ISA プログラム 2002年に開始された貿易促進プログラムのISAプログラムは、輸入者が自身の内部統制システムの評価及び構築をし、また貿易産業とCBP間の伝達方法を強化するプログラムです。このプログラムはCBPと輸入者の知識、信頼、そして現在進行中の関係を維持する意欲の元に築かれた貿易コンプライアンスへの任意的な手法として機能するよう考案されました。ISAプログラムを通し、CBPは自己査定によって自社のコンプライアンスを管理及び監視する責任を担う準備の整った輸入者とパートナーシップを持ちます。

メンバーシップの条件 ISAプログラムに参加するためには、輸入者はC-TPAT認証事業者であり、米国あるいはカナダ在住の輸入者で、少なくともCBPと二年間輸入業務経験がある事が条件です。申請者は署名済みの覚書(MOU)を提出する義務があり、その中で輸入者はプログラム条件、文書化された会社の輸入プロセスの方針及び手順、そしてISA質問と自己診断計画を遵守する事に同意します。

プログラムの有益性 ISAメンバーシップを獲得した輸入者は具体的な利益を受取る一方、CBPの貴重な資源を危険度が高く未確認の輸入者に集中させる手助けをします。ISAメンバーシップから得られる利益には貨物リリースの迅速化、輸入者貿易活動(ITRAC)の無料データ、センターオブエクセレンスアンドエクパティーズ経由のエントリー処理、定期監査プールからの除外があります；ナショナルアカウントマネージャーの任命、貨物リリースの迅速化。

現在のISA 2014年5月現在、10の製品産業グループから構成される298の輸入者がISAメンバーになっています。ISAメンバーは全ての輸入価値の23%、全提出済みエントリー数の11%を占めています。電子機器産業がISAメンバーで最も多い数を占め、石油産業が全てのISA輸入価値の約40%を占めています。

ISAの拡張 CBPはISAプログラムの範囲を拡大する新しいイニシアチブを行っており、メンバーに付加価値と利益をもたらしています。それらの試みのいくつかは以下の通りです。

ISA-製品安全性 ISA-製品安全性 (ISA-PS) 試験運用はCBP、消費者製品安全委員会 (CPSC)、輸入者の間で構築されたパートナーシップで2008年10月の連邦公報告知を通して発表されました。ISA-PSは高いレベルでの製品安全性コンプライアンスを維持し、危険な輸入を共同で防止する活動を通して輸入安全性における省庁間作業部会の目的達成をするよう考案されました。ISA-PSの申請はISAプログラムに参加する輸入者全てに可能です。

国境を越えた活動計画 2012年2月、オバマ大統領は国境を越えた活動計画 (the Beyond the Border Action Plan) を発表し、これは現在進行中の米国-カナダ間のパートナーシップを支援するイニシアチブで、セキュリティを向上させ二国間の合法的な人、物、サービスの流れを促進します。この活動計画のひとつの特徴として米国とカナダに自己査定プログラムの共通枠組みを適用し、条件を一致させ、信頼におけるビジネスが国境を効率的に移動できるよう支援する事によってメンバーの有益性を高めます。

ISA事前認証 2013年4月、CBPは貿易-セキュリティ網で能力を強化する役割を担うブローカーの能力をテストするブローカーISA事前認証 (Broker ISAPC) 試験運用を開始しました。ISAPCは主に小中規模の輸入者を対象とし、ブローカーにISAメンバーになりうる可能性のある企業とCBPをつなぐ役割を担うようにします。認証されたブローカーはISA申請の包括的な審査を行ない、ISA候補者をCBPに紹介する前にリスクベースの自己テストを通して輸入者のコンプライアンスを管理、監視する能力を評価します。申請した22通関業者のうち9の業者がこの試験運用に参加するため無作為に選出されました。

ISAへの集中査定の変換 CBPは、企業がプログラム条件を満たす事に同意する事を前提として、CBPの集中査定監査を無事に終了した企業が追加審査なしでISAプログラムに参加する事を許可しています。多くの企業がこのイニシアチブを通してISAプログラムへの移行を行なっています。